

46 学校図書館活用の活性化を目指して ～組織で取り組む活用促進～

大分県 大分県立別府翔青高等学校

基本データ

所在地 別府市野口原3088の91
 児童生徒数 871人
 教職員数 93人
 蔵書数 約25,700冊
 年間貸出冊数 5,844冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】授業改善、教員による利活用の推進

【活動のねらい】

- どの取組においても、図書館活用授業を実施にするにあたり、授業担当者が難しいと感じる部分を取り除くことをねらいとした。特に「図書館活用事前事後シート」は、具体的な実践方法を身につけたい教員が、司書教諭・学校司書と協働していくためのツールとして役立てた。また、「図書館利用予約簿」をはじめ、フローチャートや実践事例を職員に周知することで、図書館担当者と授業担当者だけでなく、学校全体の取組として意識を共有できるようにした。

取組・活動の概要

- 本校は平成27年度より3年間、県教育委員会の「学校図書館活性化推進プラン」研究校に指定され、図書館の活性化に取り組んできた。

(1) 職員研修

- 図書館活用授業についての講演会を実施した。
- また、各教科からの実践報告や図書館系からの説明等を行う職員研修を実施した。

(2) 「図書館活用授業までの流れ」の作成

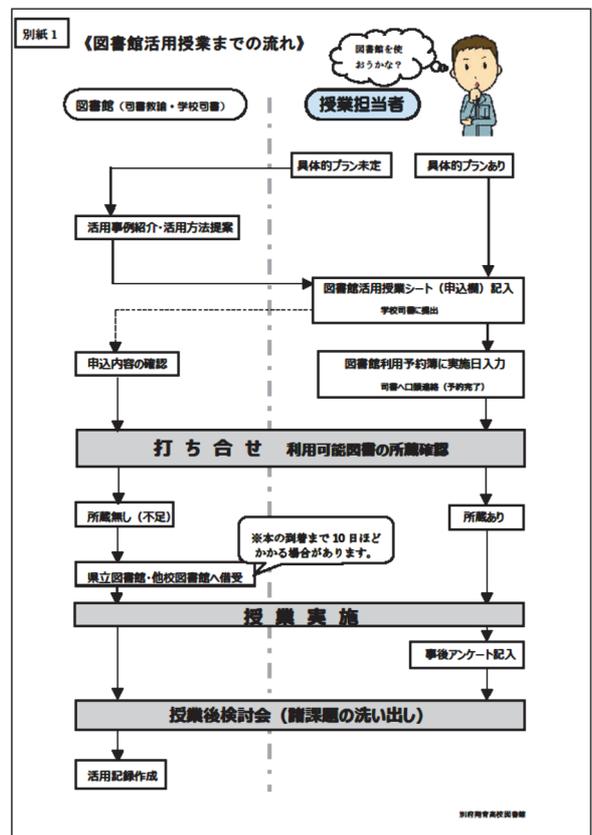
- 授業担当者がどのように学校司書と協働して授業ができるかをフローチャートの形でまとめた。
- 新任教員には新任者研修を行い、フローチャートを用いて図書館活用授業について説明を行った。

(3) 「図書館利用予約簿」の作成

- 図書館を計画的に使用できるように、校内LANで閲覧・記入できる月ごとの予約簿を作成した。

(4) 「図書館活用事前事後シート」の作成

- 司書教諭・学校司書との事前の打ち合わせシートと実施事後報告のシートを作成した。



図書館活用授業までの流れ

(5) 「図書館活用授業実践事例」の作成

- 年度末に各教科の授業実践をまとめ、次年度につなげるために、事例集を作成した。
- 実践事例は県で作成している「図書館フォルダ」にもアップし、県内の学校司書や司書教諭も閲覧できるようにした。

別紙5 《報告書》図書館活用授業実践事例 ※は必須記入	
※学校名/報告者	別府用賀高校 / 報告者○○○○
※教科	現代文
※対象学年/コースなど	1年/普通科-GC科
※単元・教材	『水の東西』山崎正和
※利用時間	4時間(調べる2時間,まとめる1時間,発表1時間)
※授業内容	東西文化の比較という観点で衣、食、住、文学、芸術、宗教などグループごとにテーマを決めて図書館の本を使って調べた後、模造紙にまとめて発表する。
※図書館からの支援(書架書き)	・県立図書館から本を借りる ・ブックリストを作成し配布 ・印刷指導のサポート ・授業担当者への資料提示(テーマの決め方、発表のしかた) ・調べ方、参考文献リスト作成についてのプレゼンテーション ・発表の技法について生徒に説明
別紙資料の有無	有り。(ブックリスト、ワークシート、指導案、生徒配付資料)
授業者コメント(授業のねらい・進め方についてか/今後の課題など)	・学習シートの感想(「面白かった」「興味関心がわいた」等多数)から、ほとんどの生徒が興味関心を持って調べ学習を行うことができたと思う。模造紙を使ってわかりやすく発表するところまでできたクラスは充実した時を過ごしたようだが、考査前で時間を充分に取れなかったクラスは少し物足りないものになった。綿密な計画でどのクラスにも同じように指導することが大切である。 ・生徒についてと想われる力(資料を探す力、コミュニケーション力、情報を選び出す力、情報を整理してまとめる力、単元に対する興味関心、発表する力) ・「著作種(参考文献リスト)」について教科情報との関係が可能
司書教諭コメント	
司書コメント	1年生というところで専門的な資料は難しすぎるので、小学生高学年向き資料を含め様々なテーマの資料を県立図書館から借りた。本を使った調べ方(目次、索引)、参考文献リストの重要性とその書き方(著作種、出典)についてをテーマの始めに、発表の仕方(声、姿勢、視線、構成など)についてを最後のコマの始めに時間をもらって説明できて、生徒にとっても既習の積み重ねが出来て、スキルの定着に繋がったと思う。6〜7人の班にひとり1冊以上本が行き渡るように用意したが、調べる内容が詳しく決まる前に準備に予約しなければならなかった。かなり余裕があったのでそれぞれが何かしらを手にとって調べられたので良かったと思う。
実施年月日	平成27年11月~12月

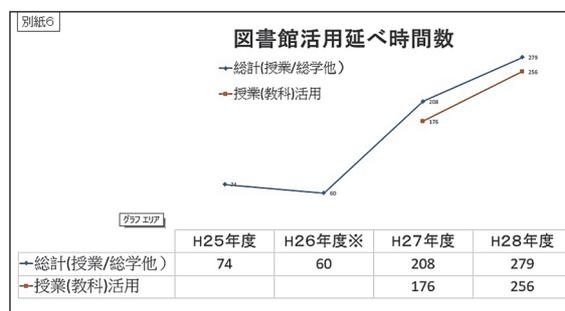
「図書館活用実践事例」記入例

取組・活動の工夫や特徴

- 「図書館活用授業までの流れ」を全職員全体で共有し、図書館活用授業の経験が少ない教員でも実践しやすくした。
- 「図書館利用予約簿」についても全員が閲覧・入力できるように整備し、図書館の予約を行いやすくした。
- 「図書館活用事前事後シート」を活用することによって、授業担当者として司書教諭・学校司書との連携が円滑になるように工夫した。
- 事後シートを踏まえた実践事例を共有することで、ある教科での実践を他教科でも参考にできるようにするなど、学校全体で活かせるようにした。

取組・活動の成果や今後の展望

- 年間を通じて、図書館活用授業の回数が年々増加した。
- 図書館を活用した学び方の指導について、職員に共通理解が生まれた。
- 生徒が主体的に学習活動に参加し、学びの深まる授業が展開できた。
- 今後も職員研修を継続的に実施し、教員のスキルの向上を図っていく。
- 教科によって図書館活用数や活用内容が異なるので、教科間の連携も模索しながら、図書館活用授業の改善を重ねていきたい。



図書館活用授業の回数の変化